

独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所における オープンカウンター試行実施説明書

独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所（以下、「当管理所」という。）における軽微な工事、測量建設コンサルタント業務、物品の購入及び役務業務（以下、「物品購入等」という。）の調達について、下記のとおり実施します。

記

1 対象範囲

予定価格が100万円以下の物品購入等であり、且つ参加条件において技術的適性を必要としない案件であること。

2 定義

この説明書においてオープンカウンターとは、見積合わせにおいて、当管理所が相手方を特定せず、案件を公開し、見積参加希望者から見積書の提出を受け、契約の相手方を決定する方式をいう。

3 見積参加者に必要な資格等

(1)独立行政法人水資源機構における建設工事、測量建設コンサルタント及び物品製造等の有資格業者名簿（以下、「有資格業者名簿」という。）に登録がある者。

ただし、有資格業者名簿に登録されていない者の参加を認める場合がある。

(2)該当案件の掲示の日から見積書提出期限の日までの間、工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（平成6年5月31日6経契第443号）に基づく指名停止を受けている期間中の者でないこと。

(3)案件ごとに参加資格を設定している場合は、当該参加資格を有している者であること。

(4)物品購入等の性質により、地域要件等の参加資格要件を定める場合がある。

(5)当管理所から記12による見積の参加制限を受けていない者であること。

(6)警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する業者又はこれに準ずるものとして、当機構発注業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(7)当実施説明書により、当該方式による見積合わせである旨を承諾した者であること。

4 見積の依頼

(1)見積の依頼にあたっては、見積依頼書を使用するものとする。

(2)見積依頼書、仕様書、数量表その他見積に必要な資料（以下、「見積依頼書等」という。）の交付は、千葉用水総合管理所ホームページからのダウンロードにより行うものとする。

(3)見積依頼書等をダウンロードした者は、見積依頼書等の交付受領書（別紙1）を電子メール又はファクシミリ装置による通信により提出するものとする。

5 見積期間

見積合わせを行う日は、工事・測量建設コンサルタント業務においては当該掲示を開始した日の翌日から起算して原則4日以上、物品購入等においては当該掲示を開始した

日の翌日から起算して原則８日以上設けることとする。ただし、急を要するときは、その期間を短縮する場合がある。

6 見積依頼書等に対する質問

- (1)見積依頼書等に関する質問は、電子メール、ファクシミリ装置による通信、持参又は郵送により受け付けるものとする。（提出期限必着）。
- (2)質問に対する回答の閲覧期間は、原則として、質問書の提出期限の翌営業日から開始し、見積合わせの日に終了するものとする。
- (3)質問に対する回答の閲覧方法は、ホームページからのダウンロードによるものとする。
- (4)物品の購入に関し、見積依頼書等に参考物品を提示している場合は、仕様書に同等品による参加を認める旨の記載がある場合に限り同等品による参加を認めるが、質問により同等品規格を提出し、当管理所から同等品と認める旨を回答されたものに限る。

7 見積書の様式、提出等

- (1)見積書の様式は、見積参加者の任意のものとする。
- (2)見積書の提出は、電子メール、ファクシミリ装置による通信、持参又は郵送により行うものとする（提出期限必着）。
- (3)見積書の日付は、見積書を作成した日を記入すること。
- (4)見積書を提出した後は、見積書の引き換え、変更及び見積の取り消しはできない。また、見積誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積もりの無効を主張することはできない。

8 見積徴取参加について

- (1)見積徴取参加について、見積依頼書等を入手した者が必ず参加しなければならないものではないことから、見積に参加しないと判断した場合は、辞退届を提出する必要はない。
- (2)見積徴取は見積依頼書において指定した日時に当管理所職員立会のもと行うため、見積参加者の立会は求めない。

9 無効の見積

次のいずれかに該当する見積書は無効とする。

- (1)参加資格要件を満たさない者が提出した見積書
- (2)提出期限以降に到着した見積書
- (3)指定した方法以外の方法により提出された見積書
- (4)指定した場所以外の場所に到着した見積書
- (5)記名押印を欠く見積書（押印を省略する場合、「本件責任者及び担当者」の氏名・連絡先の記載がない見積書）
- (6)金額を表示していない又は金額を訂正した見積書
- (7)誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である見積書
- (8)同一業者が重複して提出した全ての見積書
- (9)明らかに連合によると認められる見積書
- (10)その他オープンカウンターの参加条件に違反して提出された見積書

1 0 見積の決定

- (1)有効な見積書を提出した者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって見積もりした者と契約締結することとする。
- (2)同価見積があった場合は、くじにより契約締結の相手方を決定するものとする。
- (3)見積回数は2回を限度とする。第1回の見積合わせにおいて契約の相手方が決定しなかった場合、再度見積に移行する。再度見積の日時等については、見積依頼書に明示し、2回目に移行した旨を第1回の見積合わせで見積書を提出した者あて電話で連絡するものとする。
- (4)見積書の提出期限までに見積書の提出が無い場合や、予定価格の制限の範囲内の見積が無い場合は、オープンカウンターによる見積合わせは成立しないこととする。その場合は別途選定した業者に見積を依頼し、見積合わせを行うものとする。

1 1 決定の通知

契約の相手方として決定した者に対してのみ通知することとし、次の方法により行うものとする。

- ①決定の通知に当たっては、決定通知書により通知する。
- ②決定通知書の交付は、電子メール又はファクシミリ装置による通信により行うものとする。
- ③見積結果の公表は行わないこととするが、見積結果について見積徴取参加者より問い合わせがあった場合には、契約締結者名及び契約金額について口頭で回答するものとする。

1 2 見積の参加制限

当管理所が発注した業務の請負契約において、過去2年以内に次の①～⑦までのいずれかに該当する者は見積に参加できない。

- ①契約の履行にあたり、故意に業務を粗雑にした者
- ②公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し、若しくは不正の利益を得るために連合した者
- ③契約締結予定者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者
- ④監督又は検査の実施にあたり職員の職務の執行を妨げた者
- ⑤正当な理由がなくて契約を履行しなかった者
- ⑥受注者の責めに帰すべき事由により契約解除をした者
- ⑦その他、当管理所において不相当と認めた者

1 3 その他

- (1)契約の手続において使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (2)見積書作成に要する費用は、見積参加者の負担とする。
- (3)当管理所の都合により、見積を中止することがある。

附則

この説明書は、平成27年 9月 1日から実施する。
この説明書は、令和3年 4月 1日から実施する。
この説明書は、令和7年 4月 1日から実施する。

(別紙1)

見積依頼書等の交付受領書

宛 先	独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所						
	_____課 _____宛						
	電話番号		FAX番号				
	メールアドレス						
発信者 (※必須)	(住所)						
	(会社名)						
	(担当者名)						
	電話番号		FAX番号				
	メールアドレス						
以下の件名について、見積依頼書等を受領しました。 ○見積依頼件名 ○くじ用数値 くじ用数値とは、見積金額が複数社同額だった場合に使用する数値です。任意の3ケタの数字をご記入ください。 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ○見積辞退について 見積もりを辞退する場合であっても、見積辞退届の提出の必要はありません。 ○同方式の承諾 「独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所におけるオープンカウンター実施説明書」の内容について、承諾する場合は、次のチェックボックスにチェックをお願いします。 ☐ 承諾する							

くじの方法（オープンカウンター方式限定）

落札となるべき同額の見積をした者が2人以上いる場合は、以下の方法により落札者を決定します。

1. くじの方法について

落札となるべき見積をした者の「くじ用数字」を合計し、落札となるべき見積をした者の数で除算し、余りの数字と「くじ用順位」が合致する者を落札者とする。

2. くじ用数字について

見積依頼書等の交付受領書を当機構にメール若しくはFAX送信する際に、「0：ゼロ」から「999」任意の3桁の数字を記入していただきます。数字の記載がない場合は、「0：ゼロ」として取り扱うこととします。

3. くじ用順位について

「くじ用順位」とは、1. くじの方法による余り数字と合致する者を落札者とするために付番する番号です。

「くじ用順位」は、見積書の到着日時の早い順から「0：ゼロ」、「1」の順に付番します。

(例)

【2者の場合】

令和元年09月05日 10時35分：「0：ゼロ」

令和元年09月06日 13時10分：「1」

【3者の場合】

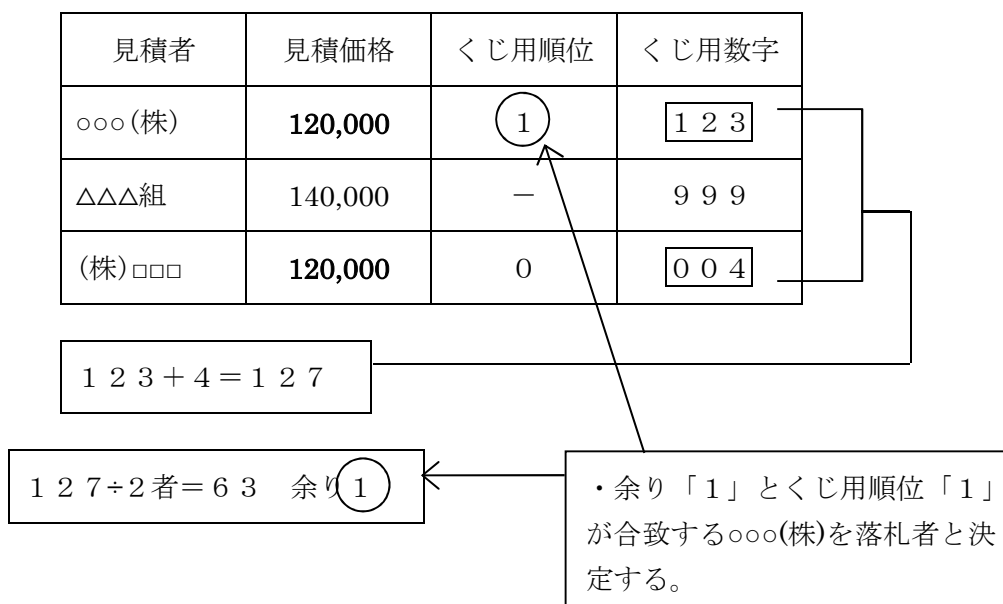
令和元年09月05日 10時35分：「0：ゼロ」

令和元年09月06日 13時10分：「1」

令和元年09月06日 15時25分：「2」

4. 具体的な決定方法について

【落札となるべき見積をした者が2者の場合】



【落札となるべき見積をした者が3者の場合】

見積者	見積価格	くじ用順位	くじ用数字
○○○(株)	120,000	2	1 2 3
◎◎工業	150,000	—	9 9 9
△△△組	120,000	1	0 0 1
(株)□□□	120,000	0	0 0 4

$1\ 2\ 3 + 1 + 4 = 1\ 2\ 8$

$1\ 2\ 8 \div 3 \text{ 者} = 4\ 2 \text{ 余り } 2$

・余り「2」とくじ用順位「2」が合致する○○○(株)を落札者と決定する。

※ 郵送より見積書が提出され、見積書の到着順が明確に出来ない場合は、落札者となるべき見積をした者に、改めて「くじ用順位」を決める方法をご連絡いたします。